

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 13-002

PDCA	事務事業名	地球温暖化対策事業	部課等名	市民経済部 環境課 環境政策担当	担当 内線等	青木 331	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第2節 環境との共生 基本施策： 1. 地球・地域環境の保全 単位施策： (1) 地球環境保全 個別施策： ①地球温暖化対策					
	根拠法令等	地球温暖化対策推進法、半田市環境保全条例、半田市環境基本計画					
	対象・目的	地球温暖化対策として、自然エネルギーの利用や省エネルギーの推進を図り、家庭での二酸化炭素排出量を削減する。また、市内における環境負荷の低減を図るため、ローカルエコアクション事業を推進し、市民、事業者の環境配慮行動を推進する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	家庭でのエネルギー消費削減のため、家庭における温暖化対策に関する情報を定期的に発信するとともに、ローカルエコアクション事業（エコファミリー、エコ事業所、環境保全表彰）を継続して実施し、市民、事業者の環境意識の向上を図る。また、市役所も1事業者であり、市内の率先行動として、エネルギー使用量削減に積極的に取り組む。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①緑のカーテン育て方講座参加世帯数	20	25	20	世帯	
		②エコファミリー、エコ事業所への情報発信件数	3	2	6	件	
		③					
		事業費	145	80	72	千円	
		人件費	3,177	3,173	3,435	千円	
	総事業費	3,322	3,253	3,507	千円		
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①市民一人あたりにかかる地球温暖化対策コスト	28	28	30	円		
	②						
③							
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
	①緑のカーテンコンテスト応募件数	実績値	34	35	49	件	
		目標値	30	35	40		
	②半田市役所の電力使用量(前年度比)	実績値			106	%	
		目標値			99		
	③	実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	低い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地		
事業の評価・課題	C 家庭で取り組みやすい地球温暖化防止対策として、「緑のカーテン」の推奨を継続して行った。「初心者のための緑のカーテン育て方講座」では、半田農業高校の協力で内容の充実が図られ、緑のカーテンに取り組む新たな世帯を増やすことができた。この講座の開設により、「緑のカーテンコンテスト」には、昨年度を上回る作品の応募があった。また、ローカルエコアクション事業では、市民の地球環境への意識を向上させるため、エコファミリーへ情報配信を積極的に行う一方、環境保全ポスターコンテスト事業では、優秀作品の表彰を行った。この他、「はんだエコアクション2019」の目標達成に向けて、平成29年度に実施した職員ワークショップの意見を活用し、職員の意識改革に努めた。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 市役所内でも、「はんだエコアクション2019」の推進に積極的に取り組んでいるものの、思うような成果が得られないため、引き続き、目標の達成に向けて行動する。「はんだエコアクション2019」は、令和元年度までの計画であり、職員にとってより積極的に取り組める新計画を策定する。					
	令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①半田市役所の電力使用量削減量(前年度)			1	%	